

2018年度コラボミュージアム作品づくりコンテスト

小学校・中学校部門 アピールシート

平成 31年 1月 14日

所属名： 徳島県 徳島市立 新町小学校

実践学年組： 3年 1組

氏名： 八波田 美幸

教科	総合的な学習の時間
実践期間	30年 9月 1日 ~ 30年 12月 20日
実践タイトル (35文字以内) わたしたちの町 新町 ~「きらり☆アーケード」を見つけに行こう~	
<p>実践の目的</p> <p>商店街のすてき(きらり)を調査し、店を紹介するポスターを作成する。専門家のアドバイスをもとに、自分たちのポスターをよりよくするための方法を考える。</p> <p>商店街を探検したり、インタビューしたりしたことをポスターにまとめることを通して、まちの人の思いを知る。</p>	
<p>実践のポイント・工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コラボノートを利用し、グループで協働してのポスター作製作業を紙ベースで行うより効果的に行った点。 ・ポスター作製時に、アドバイス機能を使用し、文字の大きさや、配置、キャッチコピーについて担任が、行った点。 ・専門家のアドバイスをもらうことで、ポスター作製をより効果的に行うことができた点。 	
<p>実践内容 (簡単に)</p> <p>この単元では、グループで調べたお店を、紹介するためのポスターを作ります。写真を選び、店名と、グループで考えた店のキャッチコピーをグループで相談しながら、画面に入力していきます。作成中、アドバイス機能を使い、随時支援を行いました。また、出来上がったポスターを、専門家に見ていただき、ポスター作製についてアドバイスをいただきました。文字の色や大きさ、写真の選び方、キャッチコピーと写真の関係など、専門家ならではの視点でのアドバイスをいただき、どこをどう直せばよいのか話し合う際の手助けとなりました。アドバイスをいただいた内容について、再度話し合い、よりよいポスターになるように、作り直しました。</p>	

(コラボノート)を使用してよかった点を教えてください。
 昨年度は、同じ内容を紙媒体で行いました。コラボノートを使用することで、グループでの協働作業をスムーズに行うことができました。写真や文字の位置、大きさ、配置など、何度も簡単にやり直しができること、また、手書きと異なり、出来上がったポスターが本格的なものとなったことなど、本物を体験することができたと思います。何より、プロの方からアドバイスをいただけたことで、満足できる作品が出来上がり、店の人にも喜んでもらえたという達成感を味わうことができました。

実践記録の概要（単元略案）

※コラボノートを活用した場面だけではなく、全体の学習の流れとコラボノートをどの場面でもどのように活用したか記載してください。

全 24 時間

時数	学習活動	先生の指導・支援 および評価	コラボノートの活用
4	「きらり☆アーケード」を見つけに行こう ・商店街の昔と今を比べて商店街の抱える問題に気づく。 ・多くの店が閉店している中で、今も続いている店、新しくできた店があることを知る。	・地図や、写真等の資料で、商店街の現在の状況に気づかせる。 ・商店街を訪れる人が激減しているにもかかわらず、古くからある店があること、新しくできた店があることに気づかせる。	
4	街を歩こう ・商店街を歩いて、様々な店があることを知り、詳しく調べたい店を決める。	・興味を持った店ごとに探検のチームを作る。	
6	町を探検しよう。 ・グループで店を探検し、店のようすや、店の人の思いに気づく。 ・店の人の話を聞き、思いに気づく。	・店の商品だけでなく、店の人の商店街に対する思いを感じることができるよう、支援する。また、事前をお願いしておく。	
6	店を宣伝するポスターを作ろう。 ・キャッチコピーを考え、店を宣伝するポスターを作成する。	・インタビューや探検を振り返り、「お店ならでは」と思うことが整理できるようにする。	ポスター作りの協働、教師からのアドバイス機能を利用した支援を行う。
4	専門家のアドバイスをもとに、ポスターを完成させる。 ・アドバイスをもとに、店のよさがより伝わるポスターに改善する。	・店の良さが伝わるポスターになるように、アドバイスの意味をしっかりと考えさせる。	交流サイトの専門家からのアドバイスをいただく。 アドバイスをもとに、改善点を話し合う。 ポスター作製時、アドバイス機能を利用した支援を行う。